

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月21日

計画の名称	重点道の駅「いたの」関連整備												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和05年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	板野町												
計画の目標	道の駅いたのは、「重点道の駅」及び防災拠点機能を併せ持つ「防災道の駅」として選定されており、町道91号線駐車場内にデジタルサイネージを設置することにより、異常時にはJアラートや緊急災害情報等と連携し、道の駅並びに町の防災の機能強化を図る。平時は防災に関する情報を提供し道の駅及び町の広報に活用する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	26	A	26	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R5末
1	デジタルサイネージ設置による防災に関する情報提供時間の拡大。 デジタルサイネージ設置により防災に関する情報提供時間を拡大する。 現在の情報提供時間からデジタルサイネージ設置後の情報提供時間	10時間/日	時間/日	24時間/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	板野町	直接	板野町	市町村道	施設整備	(他)町道91号線	デジタルサイネージ整備	板野町						26		-
											小計						26		
											合計						26		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業計画策定主体（建設課）で実施	事後評価の実施時期 令和7年11月
	公表の方法 板野町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	情報が24時間提供されるようになり、夜間においても防災情報等が周知された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
情報ステーションとして、必要な情報を的確に発信する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	24時間 / 日
	最終実績値	24時間 / 日

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	重点道の駅「いたの」関連整備		
計画の期間	令和05年度～令和05年度(1年間)	交付対象	板野町

A1-1 (他)町道91号線

